

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード

21211003

平成25年度作成

平成24年度  
実施事業

事務事業名

ごみ減量化推進事業（資源ごみの回収）

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	1	廃棄物の減量
主要な施策	1	①ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策グループ
-----	-------	-------	---------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	資源の有効活用の促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>新聞紙や金属類、びんなど、再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子供会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金（3円／1kg）を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内町内会及び各種福祉・社会教育団体 84団体登録</li> <li>・再生可能な資源ごみ 年間 1,413トン回収</li> <li>・奨励金支給額 1,413,455kg×3円=4,240,365円 ≒ 4,241千円</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	循環型社会の構築を図るため、本年度も引き続き、資源回収団体に奨励金を支給する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市資源回収団体奨励金支給要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	4,442	4,241	4,800	4,800	4,800
事業費 合計			4,442	4,241	4,800	4,800	4,800

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 資源回収団体数	団体	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	83	84			
	② 資源回収量	トン	目標値	1,800	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,481	1,413			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>【資源回収団体登録数及び資源回収量】</p> <p>町内会等で活動される方の高齢化や事業の多様化により積極的に資源回収に取り組む時間が割けないなどの要因により、登録団体数及び資源回収量について、横ばい状態である。</p>	<p>各町内会に対し、登別市衛生団体連合会より発行される「衛団連だより」を回覧配布し、当たより内に資源回収団体の登録と活動に対する依頼内容を掲載し普及啓発に努めた。</p> <p>また、資源回収団体に登録したい団体に対し、本奨励金制度の内容等を分かりやすく、かつ簡単な手続きで活動を開始できる旨を説明することで登録団体数を維持、増加することができた。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 登録団体による資源回収により、再生可能な資源ごみがリサイクルされ、ごみの減量効果に繋がっていることから、本事業は妥当であると判断する。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 資源回収量については、ピーク時と比較して減少傾向にあるが、登録団体数は大きく変動しておらず、資源の有効活用に対する市民の意識は未だ高いと考えられる。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 本奨励金は、回収量に応じて支給していることから、事業費の減額(トンあたり3円支給)は、登録団体の意欲低下を招く恐れがある。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 登録団体である町内会等で活動する方の高齢化や事業の多様化により、積極的に資源回収に取り組む時間が割けないなどの要因により、登録団体数や回収量について、横ばい状態である。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業を実施することにより、資源のリサイクル推進と市民へのリサイクル意識の向上が図られ、循環型社会の構築へと繋がる。
----	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--